

南部中学校の ESD 活動

<活動の概要>

本校では、学校の特色や地域性を踏まえ、「総合的な学習の時間」を中核にすえて ESD 活動を実践している。1 年生では、地域を守る手段を学ぶことを通して、自分自身がこれからどう生きていくか、地域のために何ができるかを考える「防災」。2 年生では、自分の将来の職業や進路、生き方について見つめ、そのために自分に必要なことを考える「職業・勤労」。3 年生では、自分の国や地域・学校に誇りをもち、課題の解決に向けて自ら動き出すとともに、今後の生き方を考える「国際理解」。これらのテーマを中心に据え、「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」の精神のもとに、歴史や地域福祉・防災、日本や世界の状況を系統的・教科横断的・総合的に学ぶことにより、自律を支援し、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的、持続的に取り組む態度を育てている。

活動の実際

①防災に係わる学習（1 年生）

1 年生の総合的な学習の時間では、防災について学習している。大規模災害を想定して、今自分たちができる備えについて考えを深めた。災害時に何を持って避難するか、何を準備し備えておくことが必要なのかを個人で考えて発表した。また、実際の災害対応を想定し、自らの問題として考えられるようになることを目的とした「HUG（避難所運営ゲーム）」という活動を行ったりした。自分なりの災害への備えについて、一人一人が真剣に考え、防災意識の向上に繋がった。



防災学習

②職業・勤労に係わる学習（2 年生）

2 年生の総合的な学習の時間では、職業・勤労について学習している。年間を通して「どんなやりがいをもって働くか」ということを念頭において学習に取り組んでいる。ビジネスパークでは働く大人の価値観に触れ、大人たちの「やりがい」を聞いたのち、ラグーナでの職業体験を行った。実際に働いたり、客の立場を経験したりすることによって、自分なりの「やりがい」や働く上で大切なことを見つけてきた。そして、新聞にまとめ発表することで、自分が学んだことに加え、友達が学んだことを知る機会を設けている。



職業体験学習（ラグーナテンボス）

③国際理解に係わる学習（3 年生）

「My SDGs」—豊かな未来をつくる—をテーマに、持続可能な世界をみざし私たちができることを考えた。はじめに、国際的にさまざまな状況下で世の中のために取り組んでいる人々の活動について知る。次に、基礎的な知識や組織の活動内容、社会の仕組み等に関する情報を自分の学びの中で活用し、「地球住民」としての自分の役割を考えた。そして、自分のテーマに基づいて追究し、それを自分の考えとしてまとめ発信した。友達との分かち合いを通して、自ら実践しようとする意欲をもつことができた。



授業中の様子